みんなのおもいをつなげる 大熊町コミュニケーション誌 No.4

おおくまの絆

Contents

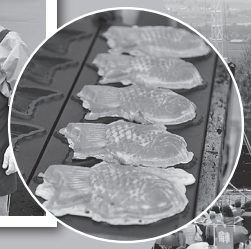
- ふるさとまつり …… 2 3
- 夏休みキッズカレッジ …… 4
- 長原仮設住宅 夏祭り …… 5
- 開業のお知らせ …… 6 7
- トピックス …… 8
- 社協からのお知らせ …… 9
- スマイルネットワーク「ごはん処やまもと屋」 …… 10
- みんなのフォトギャラリー …… 11
- キラキラキッズ「三瓶太稀君(小名浜少年野球教室)」 …… 12

大熊町ふるさとまつり

6月17日㈰
松長近隣公園
仮設住宅駐車場

6月17日、去年の11月に続き「大熊町ふるさとまつり」が会津若松市の松長近隣公園仮設住宅駐車場で盛大に行われました。会場には射的・輪投げなどの縁日コーナーや、焼きそばなどの屋台が立ち並び、また、どんぐりの実を使った細工の体験学習が出来る場所や、ちびっこ広場も併設され、子供達の元気な声が聞こえていました。ステージでは大熊町商工会女性部による郷土芸能「宝財踊り」が披露された他、餅つき大会やウルトラマンショー、鳥羽一郎ふれあい歌謡ショーにET・KINGミニコンサートなどバラエティーに富んだ内容で祭りを盛り上げました。会場では、お互いの元気な姿を確認し合い、久しぶりの再開を喜んでいる姿が多く見られました。

そして、町民同士の絆を再認識するべく、ふるさとまつりに併せて実施された「大熊町民のつどい」では、県内外から117人が参加し、ふるさとの話や近況など、夜遅くまで話はつきませんでした。



会場には被災地をたい焼きで支援する「たいやきプロジェクト」の姿も

ET-KING Mini Concert

in ふるさとまつり

嬉しいことも、悲しいことも、「はんぶんこ」しよう

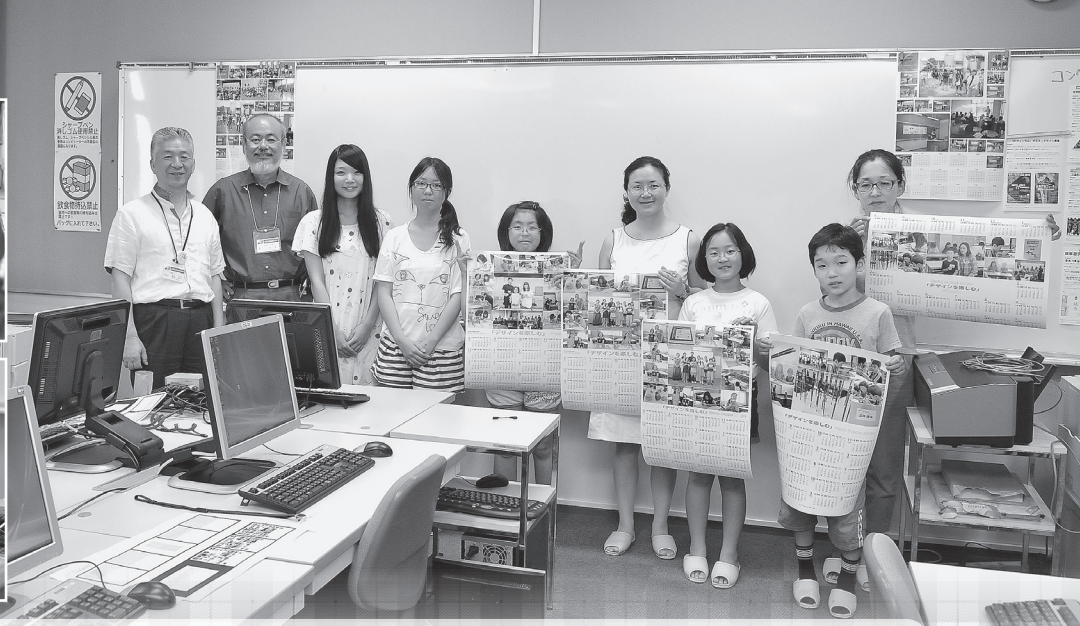
会津に歌を届けに来たのは、去年の4月、11月、そして今年の3月に続き4回目になるET-KINGのみなさん。このような支援をするようになったのは、震災前の2010年11月に大熊町文化センターでのライブがきっかけだそうです。その縁で去年の4月、幼稚園・小学校・中学校の合同入学式を訪れ歌声を届けました。その後、幼稚園の先生から「子供達に元気と踊りと歌をプレゼントしていただけませんか」という手紙を貰い、大熊町幼稚園のために書き下ろされた『はんぶんこ』という曲ができあがりました。

「子供達に歌を届けるとなった時に、どんなメッセージを届けようかと考えたんですけど、合同入学式で歌わせてもらったとき、それを聞いた子供が笑ってくれたんですよね、そしてそれを見ていた大人も笑ってくれたし、そんな大人を見て子供も安心してくれたんです。子供と大人、一緒にわかりあえるメッセージにしようと思って思い浮かんだのが『はんぶんこ』という言葉だったんです。復興ということに日本全体が向かっていく中でも、それとは違った大熊のみなさんには「ふるさとに帰れない」という気持ちがあり、みんなでもっと気持ちを分かち合って、うれしいこと、かなしいこと、苦しいことも分け合って、先に進んでいけたらなと思ってこの曲を作らせてもらったんです」と、この曲についてリーダーのイトキンさんは話します。その曲を持って再び会津を訪れ、園児達の前で歌ったときは、子供達は声をあわせて歌って踊ってくれたそうです。

ET-KINGのみなさんは、大熊町支援を続けていくことや、毎年大熊町出身の子供たちに歌を届けに行くなど、長期に渡って活動を行っていくことを表明しています。先日行われた全国ツアーでも、グッズの売上げの一部を活動資金に充てることなどをファンの皆さんへ話してきたといい、この支援活動には、ET-KINGのメンバーやスタッフのみならず、全国のファンのみなさんの気持ちも込められているということです。また、子供達に歌を届けにくることについては、「自分達の歌で微力ながらも無力なことはないと思うので、一人でも多くの人に元気になってもらいたいというのが一番真ん中にある気持ちです。子供達がつらいことやら悲しいことやら不安なことばかりが増えてしまったら、それこそ子供のときのいい思い出なんか出来ないと思ったんです。歌を届けに来て、ふるさとから離れたところで一つでもいい思い出ができて、それで胸がいっぱいになったらすごくいいなと思って。自分達に出来ることが少ない中でも子供達に歌を聞いてもらいたいと思ったんです」（イトキンさん）。

そんな思いが込められたライブは、アンコールを含めた全7曲がステージから届けられ『はんぶんこ』が歌われたときは、子供も大人も振り付けで参加し、会場には笑顔が溢れていました。

ET-KINGの「はんぶんこ」振付映像▶ http://youtu.be/b6lp-Qr-DRc パソコンやスマートフォンからご覧いただけます!



会津大学短期大学部
地域活性化センター
復興プロジェクト

夏休みキッズカレッジ

7月21日、22日、8月4日の3日間に渡り、会津大学短期大学部で夏休みキッズカレッジが開かれました。この催しは、会津短大の地域活性化センターの復興プロジェクトの一環として、震災以降に学生などが支援を行っている中で、親子のつながりや会津の子供達との交流を深めることの必要性を感じ、親子や子供達が一緒になって楽しめる場を提供したいとの思いから開講されました。キッズカレッジでは「漆塗り箸づくり」や「ペーパー立体モデルづくり」といったデザイン制作を楽しむものや、料理教室、ヒップホップダンス教室などバラエティに富んだ講座が行われ、大熊町からは延べ27名の町民が参加しました。

取材に訪れた日は、デザイン制作の講座に参加された方達が、その様子を写した写真を使ってのカレンダー制作を行っていて、初めて使うパソコンソフトに悪戦苦闘している様子でした。それでも、講師の先生やアシスタントとして参加した学生に質問をしながら作品が出来あがると、お互いに見せ合いながら出来栄えに満足している様子でした。参加した町民の方は「カレンダー作りは初めての経験で、写真をそろえるところなどが難しかったけど、楽しく出来ました」（高松那雪さん：大野小6年）、「難しかった。写真のセレクトが大変だった」（笠井俊佑君：大野小5年）と感想を話してくれました。また、学生からは「親子一緒に楽しめる講座でよかったと思います」（小林安理紗さん：デザイン情報コース2年）、「子供達と親しく触れ合え、楽しくできました。いい経験になりました」（佐久間祐衣さん：デザイン情報コース2年）といった声が聞かれました。

第1回 長原仮設住宅 夏祭り

8月12日(日)

今年の春、自治会で企画されたお花見が好評で「夏は盆踊りをしよう」と発案された今回の夏祭り。「お花見は仮設住宅内だけで行われましたが、盆踊りは他の仮設住宅や長原地区の住民の方達にも集まっていただきたいと思いました」と話してくれたのは実行委員長の山本さん。その為、今回はポスターを付近のスーパーやコンビニエンスストアなどにも貼らせていただいたそうです。そのポスターを描いたのは、熊町小学校に通う六年生の大浦成美さん。お花見の時に、屋台などに飾ったポップを山本さんが気にいって、成美さんに依頼されたそうです。「これを見てお祭りに来てもらいたいという気持ちで描きました」というポスターは、二日かけて制作されました。

大浦成美さんと
今回のポスター

近所の居合町から家族連れで来た方は「普段はあまり交流する機会がないので、こういったお祭りがあるといいと思います。続けて欲しいですね」また、大熊町民で、現在は石堂町の借上げ住宅で暮らしている斎藤さんからは「こういう場所に来ると町の人と触れ合えるからいいね。太鼓の音を聞くと心が踊って元気になるよ」といった声が聞かれました。

福島市の借上げ住宅で暮らしている菅波佳子さん(左)は、司法書士として大熊町の方を中心にお仕事をされているそうです。今回は奈良県に住む仕事仲間からの支援物資、約五百本の飲み物を持ってお祭りに参加されました。長原仮設にお住まいの佐藤幹さん(右)とは、着付教室の友達ということで、お２人共「他の着付教室の友達は連絡先がわからない。みんなに逢いたいです」と話されていました。

開業・開店のお知らせ

菓子工房yokota いわき中央台店「cream house nobuya」

横田 信行 さん

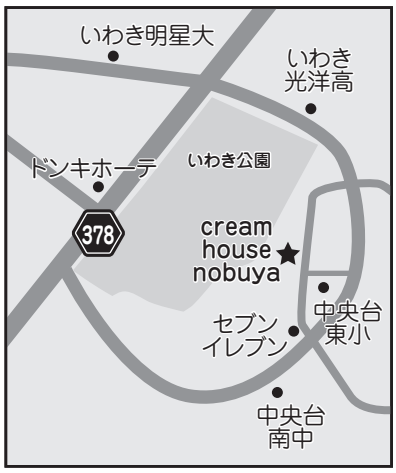
震災から約一年半、色々な方に協力・助言をいただき、このたびいわき市にて事業再開させていただくことになりました。

避難生活を続ける中で、自分の名を店名に入れ、後の世代に残したいという気持ちがあふれ、今回店名を新しくさせていただき、ゼロから出発する心構えでございます。

お菓子作りの夢をつなぎ、みなさまの笑顔に会える日を楽しみにしております。

※只今建築中のため、OPEN時期は10月末～11月初旬の予定です。

〒970-8047 いわき市中央台高久1-13-2 ●TEL 090-4885-4247



ごはん処やまもと屋

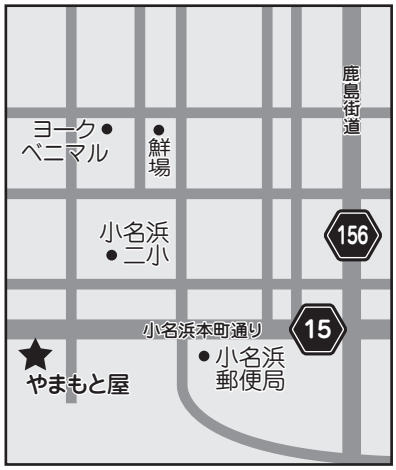
山本 良夫 さん

こんにちは、お弁当のやまもと屋です。いわき市小名浜でがんばってます。

昼はランチ（11:00～14:00※ごはんおかわり自由。コーヒー付。）定食、夜は居酒屋でお酒も出しています。

また、大熊の仮設を中心にお弁当の配達も行なっております。よろしくお願いします!

〒971-8164 いわき市小名浜隼人73-2 カネマン物産ビル
●TEL 0246-38-6601
●ホームページ http://www.gurutto-iwaki.com/detail/index_976.html



中華料理 八龍

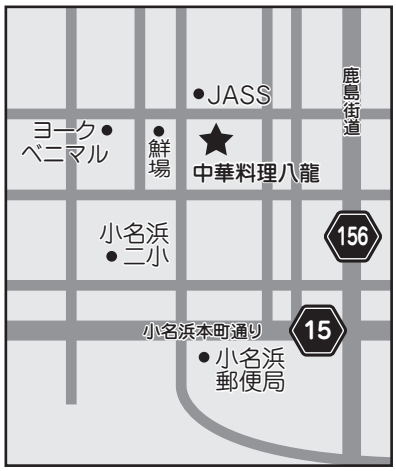
山田 学 さん

みなさんお元気ですか?

私どもは元気にがんばっています!

震災前と同じメニューもお出ししておりますので、お近くにお越しの際は、お気軽にお寄りください。

●営業時間:11:00～14:00 16:00～20:00（19:30ラストオーダー）
●定休日:不定休
〒971-8164 いわき市小名浜寺廻町16-1 盛喜ビル1F
●TEL 0246-92-1638 ●FAX 024-983-7028



募集 大熊町関連の開業・開店情報を募集しております!**大熊町商工会**まで、情報をお寄せください。

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号TEL■(0242)29-5770 FAX■(0242)29-5771

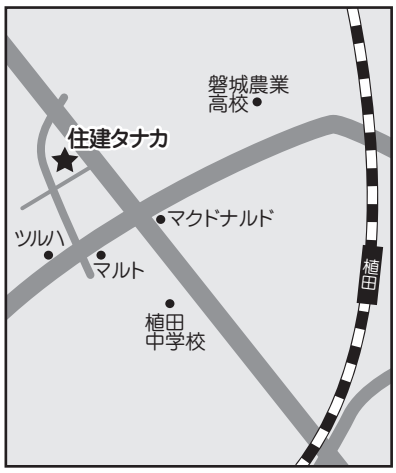
住建タナカ

田中 利忠 さん

家族を守る家

木造在来軸組工法で地震に強い家造りをめざし無垢材をふんだんに使い、コストに挑戦しながら地元密着のトータル住宅造りを目指します。

〒974-8251 いわき市中岡町3丁目3-4
●TEL 0246-38-6836(携帯 090-1067-2446)
●ホームページ http://www.bb.futaba.ne.jp/~juuken-t/
●E-mail juuken-t@bb.futaba.ne.jp



平成24年度 大熊町ふるさとまつりinいわき を開催いたします

主催:大熊町観光協会 共催:大熊町・大熊町商工会
後援:いわき市・好間工業団地連合会

6月に会津若松市で開催された「大熊町ふるさとまつり」を、各地に避難している大熊町民の交流を目的として10月28日にいわき市でも行うことになりました。

困難な避難生活を余儀なくされている中、町民同士が近況等を話し合える集いにしましょう。

ぜひ、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

開催日時	10月28日(日) 10時～15時
開催場所	いわき市好間工業団地1-43地内 大熊町いわき連絡事務所前駐車場
開催内容	①キャラクターショー②ふれあい歌謡ショー③各種出店(遊具含む) ※開催内容につきましては、諸事情により変更になる場合もあります。
交通手段	当日会場内への車輌の乗入れは原則禁止となっております。 好間工業団地内に臨時駐車場を設け、会場まで送迎バスを運行する予定です。

お問い合わせ先

大熊町観光協会(大熊町商工会内)
TEL 0242-29-5770 ※土日祝日を除く平日午前9時から午後4時

TOPICS

七夕飾りに想いをこめて

いわき市平 七夕 8月6日㈪～8日㈬

八月六日、七日、八日の三日間、いわき市で行われた「平七夕まつり」に大熊町の仮設住宅及び借り上げ住宅にお住まいの方が作られた七夕飾りが飾られました。平七夕まつりは、大正八年から続く伝統行事で、祭りの最終日に行われる「いわき踊り」と併せていわきの夏の風物詩となっています。

今回のことは、NPO法人「シャプラニール＝市民による海外協力の会」と平七夕まつり実行委員会の呼びかけで社会福祉協議会が主催した七夕飾り作りの体験が行われたことがきっかけでした。仙台に本社を持つ、七夕飾り作成で知られる鳴海屋紙商事株式会社による七夕飾り作り体験が行われたのが五月、その場で平の七夕祭りに参加することが決まりました。その後、六月中旬からいわき市内の各仮設住宅での制作が始まり、およそ百人の方が作業に関わり、合計十個の七夕飾りが作られました。作られた飾りには、千羽鶴が組み合わせられていて、その為に七千羽程の鶴が折られたそうです。

参加した方からは「飾りの上の部分につける花の作り方が難しくて苦労しましたが、回を重ねるごとに参加している方達も慣れてきて、予定よりも早く作り終えることが出来ました」といった話が聞かれました。

七夕まつりでは、平二町目のメインステージ前に二基、ワシントンホテル前に一基の合計三基が飾られ、メインステージ前の一基には「おおくま」の四文字があしらわれていました。毎年見に来ているといういわき市内の男性は「この通りは毎年見ごたえのある飾りが多い場所。他の飾りと比べても遜色ないね」と感想を話してくれました。期間中は約百二十基の七夕飾りが並び、道行く人の目を楽しませていました。

仮設住宅で行われている健康教室のメンバーが中心となり制作が行われました。

大熊町の他にも、広野・楢葉・富岡・浪江などの相双地区の町の飾りも見られました。

お茶会

7月23日㈪ 渡辺町仮設住宅

羊羹でおなじみの「とらや」によるお茶会が7月23日にいわき市の渡辺町仮設住宅で催されました。この日はおよそ30人の住民が参加し、提供された水羊羹を味わいながら町民同士の話に花を咲かせていました。とらやでは仮設住宅の方達に和んでいただけるような場所を提供したいと、4月からこのようなお茶会を被災地の仮設住宅や公民館で開催しています。

つながっぺ！おおくま

社会福祉協議会からのお知らせ

会津若松出張所　〒965-0873 会津若松市追手町2番41号（会津若松市役所 追手町第2庁舎内）TEL:0242-29-5760　FAX:0242-29-5761
いわき連絡所　〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター内）　TEL:0246-38-8920　FAX:0246-38-8921

避難者支援事業～つながっぺ～

大熊町社会福祉協議会では、福島県内外に避難を余儀なくされている大熊町の方々が、自ら情報収集や近況を語り合える場づくりが出来るよう支援を行っております。

大熊町民による自主的な組織で集いやサロンを運営している団体や仮設住宅で自治会活動やサロン活動などを行っている自治会に活動支援金を助成しております。

「皆でこんなことをしてみたい」「同じ避難先の仲間とおしゃべりがしたい」という方がおりましたら、ぜひ社会福祉協議会までご相談ください。

気軽に集まっぺ大熊「もみの木」（白河市）

七五(なご)やかサロン（長原仮設）

日常生活自立支援事業「あんしんサポート」

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、自立した地域生活が送れるよう、下記のサービス等の提供を行い、暮らしの安心をお手伝いする事業です。

＜主なサービスの内容＞

（1）福祉サービスの利用援助（福祉サービスの情報提供や利用手続きなど）
（2）日常的金銭管理サービス（銀行などに行き、日常生活に必要なお金の出し入れの支援など）
（3）書類等の預かりサービス（預金通帳や印鑑などを貸金庫など安全な場所で預かる）

利用を希望する方は、ご本人と社会福祉協議会との間で利用契約を結び、生活支援員が支援計画に沿ってご自宅を訪問し、サービスを行います。

相談から契約までは無料です。サービスが開始してから1回1時間当たり1,000円の利用料等がかかります。内容を詳しく知りたい方、利用を希望する方はお気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

スマイルネットワーク 4

大熊のみんなの笑顔をお届け

このコーナーでは笑顔でがんばっていらっしゃる
大熊町民の方を紹介させていただきます。

ランチ・定食からお弁当配達・仕出しまで

ごはん処やまもと屋

いわき市 山本 良夫 さん

今回は長年6号線大熊町小入野地区にて仕出し・惣菜などを中心に営業されていました「やまもと屋」さんが、今年5月にいわき市小名浜にて「ごはん処やまもと屋」として営業を再開されたということで、オーナーの山本良夫さんにお話を伺いました。

避難された後、どのような思いでお店をオープンなさいましたか?

震災前までは営業も起動に乗り、ちようどこれからお店も拡張しようと準備していた矢先での震災でした。それから一年近く避難生活をしていても、やはり志半ばの悔しい気持ちばかりでそれならばもう一度がんばってみようと決意し店をオープンさせました。

ごはん処以外にも仕出しはやられているのですか?

はい。主にお店ではお昼のランチと、夜はお酒も出して定食を中心に営業していますが、それ以外に大熊社協さんより委託を受けて、近くで避難されていてあまり外へ出られない大熊町民の方のために安否確認も兼ねたお弁当の配達もやっております。またご注文を頂ければオードブル・仕出しも承ります。

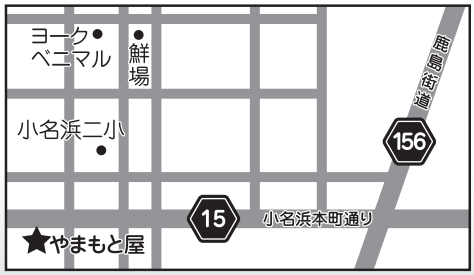
町民の方へメッセージをお願いします。

近くの仮設住宅などからもオードブルなどのご注文を頂いたり、毎回ふるさと祭りにもお店を出させて頂いて、震災後も出来るだけ町民の皆様とつながりを大切にしていきたいと思っています。またインターネットサイトの「ぐるっといわき」「ぐるなび」にもお店情報を載せました。

どうぞお近くへお越しの際は、駐車場も大きくなりましたのでぜひお気軽にご来店ください。

カウンター席でお一人様からでもお食事・お酒を楽しめます

テーブル席・お座敷は団体様にもご利用いただいております。



ごはん処 やまもと屋

〒971-8164
福島県いわき市小名浜隼人73-2
カネマン物産ビル
●TEL・FAX 0246-38-6601
営業時間▶11：00～14：00
17：00～22：00
定休日▶日曜日

ぐるなび http://rp.gnavi.co.jp/6404576　ぐるっといわき http://www.gurutto-iwaki.com/detail/index_976.html

Smile Network

みんなのフォトギャラリー

①お名前②大熊住所③現住所　コメント

やったーぜ!

①大熊中学校野球部 ③会津若松市
部員9人で力を合わせて頑張りました!
大熊町のみんなも他の県や町にいても大熊町民として頑張ろう!

また来年も来ようね!

①志賀穂乃花･万紘 ②下野上
③会津若松市
昨年はどこも旅行いけなかったけど、今年は家族みんなでハイランドパークにいきました。いろんな乗り物にのってとても楽しかったです。またみんなで遊びに来たいです。

明日の幸せ

①大井川良子 ②下野上 ③茨城県水戸市
震災7日前夫を亡くし、震災後は3度の移動を経てこちらへ来ました。毎日大熊町のことばかり考える中で、何かやりたいと思い、花を育て始めました。去年は孫がキャプテンとしてテニスの全国大会へ出場し、嬉しかったです。

あの人に伝えたい「ありがとう」&みんなのフォトギャラリー 投稿募集中!

A あの人に伝えたい「ありがとう」

伝えたい「ありがとう」はありませんか?直接言うのが難しい、あなたの「ありがとう」の気持ちを紹介させてください。

直筆ハガキ、絵手紙などもOK!

B みんなのフォトギャラリー

みなさんがお撮りになった写真を募集しております!題材はなんでもOK!

●①お名前②大熊町での大字名③現在お住まいの都道府県や市町村名をお書きください。※匿名をご希望の際は、その旨お知らせください。
●Aの「あの人に伝えたい『ありがとう』」はメールの本文かテキストファイルを添付してご応募ください。ハガキ･封書での投稿もお待ちしております。
●Bの「みんなのフォトギャラリー」は携帯メールかPCメールに画像を添付して、画像のタイトルやコメントも記載してください。
※掲載はモノクロになります。※ご応募いただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。

メールでの応募先　okuma@next-hamashin.co.jp（右のQRコードからもメールを送れます。）

郵送での応募先　〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号
大熊町役場 会津若松出張所企画調整課「おおくまの絆」係

KIRA★KIRA KIDS Vol.4

三瓶太稀君（11歳）

8月に行われた全国大会の出場を前に、激励金の贈呈が行われました。

小学４年生の時、大熊の自宅の前で。

去年の11月には各地に避難している大熊町野球スポーツ少年団のメンバーが集まりました。ユニフォームが違っても、心は一つ！

これまで16度の全国大会出場を誇り、いわき市でも指折りの強豪チームとして知られている小名浜少年野球教室。現在、そのセンターのポジションには、以前、熊町小学校に在籍していた三瓶太稀君(小名浜西小学校6年)がいます。

去年の4月に家族でいわき市に避難してきた太稀君は、野球ができるチームを探していて、「どうせやるなら強いチームで」との思いから、小名浜少年野球教室の門を叩き、5月にチームへ加わりました。

「最初に見たとき“上手い子だな”と思いました」と語ってくれたのは、監督の小和口有久さん。太稀君については「真面目でひたむきな性格だと思います。ボールに対する集中力があり、あきらめずに向かっていく気持ちがあるので、ファインプレーをすることが多いです」技術的な面では「走塁が非常に上手く、相手ピッチャーのクセを見抜くのに長けている、そういった所には天性の物を感じます。チームのリードオフマンとして、他のメンバーにもいい影響を与えている」と話してくれました。

チームでは1、2番を任されることが多く、同じく1番センターを務めることが多い巨人の長野選手が好きだと話してくれた太稀君は、7月にいわき市支援のために東京ドームで行われた「がんばっぺいわきナイター」に招待され、セレモニーでは実際にセンターのポジションに立ちました。「長野選手に“がんばってください”と声をかけることができました」とうれしそうに話してくれました。

強豪チームゆえ、毎週のように大会に参加している小名浜少年野球教室。「子供達だけではなく親御さんたちも大変だと思います。ですが、こうして親子そろって一喜一憂できるこの時間を大切にして一生の宝物にして欲しい」(小和口さん)

8月には北海道で行われた全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場、1、2回戦は接戦を制して見事に勝ち上がりました。特に、二回戦では左翼越えの二塁打を打つなど活躍を見せました。準決勝では滋賀県の多賀少年野球クラブスポーツ少年団に3−4と僅差で敗れましたが、堂々の全国三位となり全国大会でもその実力を存分に発揮することが出来ました。

みんなのおもいをつなげる大熊町コミュニケーション誌
おおくまの絆
2012年9月発行
発行 大熊町
大熊町役場　会津若松出張所
〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号 （会津若松市役所 追手町第二庁舎内）
フリーダイヤル 0120-26-3844 代表(8時30分～17時15分) FAX 0242-26-3794
E-mail okuma@town.okuma.fukushima.jp
ホームページ http://www.town.okuma.fukushima.jp/